

10. 本時の展開

(1) 本時の目標 話し合いを通して、たぬきの気持ちの変化に気づくことができる。

(2) 本時の評価基準 【思】本文や挿絵をもとにしながら場面の様子から登場人物の行動やその行動の理由(気持ち)を具体的に想像している。

| 時間 | 学習活動・児童の反応 | ☆指導上の留意点 ◎支援 | 評価規準(評価方法) |
|-------------|---|---|--|
| 5分 課題把握 | 1. 前時のふりかえり 2. 本時の場면을音読する。 3. 学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ㉞ 糸車をまわすたぬきの気持ちをかんがえよう。 </div> | ☆語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読させる。 | |
| 5分 自力解決 | 4. 糸車をまわしているときのたぬきの気持ちを考えさせる。 (児童例) ・糸車をまわせたのしいな。 ・やっと糸車まわせてうれしいな。 ・上手に糸車まわせるかな。 ・糸車まわすの難しいな。 ・おかみさんに会いたいな。 ・おかみさん喜んでくれるかな。 ・おかみさんのためにがんばろう | ☆本文や挿絵から考えるように指導する。 ◎たぬきの様子がわかる文に線を引かせる。 | |
| 25分 集団解決 | 5. ペアで話し合う。 6. 全体で話し合う。 7. おかみさんへの思いが分かる様子を文章から考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 二場面のたぬき ・糸車をじっと見ていた。→糸車おもしろそう。 ・糸車をまわす真似をしていた。→糸車をまわしてみたい ・「まいばん、まいばんやってきた」→糸車が気になる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 四場面のたぬき ・糸のたばを山のようにつんでいる。→糸のたばをたくさん作って驚かせたい。 ・ほこりだらけのはずの糸車には、まきかけた糸までかかっています。→毎日、糸車をまわしに来ている。 ・おかみさんがしていたとおりに、たばねてわきにつみかさねました。→おかみさんのように上手に糸のたばを作りたい。 </div> | ☆ペアで話し合ったことを全体で伝え合い、その中でも、他者と自分の考えとの相違点や質問を考えさせる。 ◎ペアでの話し合いの場面で、友だちの意見を参考にして、自分の考えを持てるようにする。 ☆二場面と四場面のたぬきの様子を比べさせる。 | 【思】本文や挿絵をもとにしながら場面の様子から登場人物の行動やその行動の理由(気持ち)を具体的に想像している。(発表・記述) |
| 10分 ふり返り | 8. 学習課題をふり返る。 ・おかみさんに恩返ししたいと思いながら、糸車を回していることが分かった。(B) ・はじめは糸車を回したい気持ちだったけど、いまは、おかみさんに恩返ししたいと思いながら、糸車を回していることが分かった。 <u>なぜなら、ほこりだらけのはずの糸車に、まきかけた糸がかかっているところから、毎日糸車をおかみさんのために回しにきていると思ったから。(A)</u> ・たぬきは、はじめ糸車を回したいという気持ちだったけど、いまは <u>糸のたばを山のようにつんでいるようすから、おかみさんを驚かせたいという気持ちが強くなっていることに気づいた。(A)</u> | ☆話し合いを通して、共感したところや、他者の意見を聞いて、より自分の考えが深まったところを書くように指導する。 ☆ふり返りには、自分がその考えに至った根拠も含めて記述するように指導する。 ◎自分の考えをまとめる手立てとして、キーワードや板書を参考・活用させながら支援を行う。 | 【思】話し合いを通して、共感したところや、他者の意見を聞いて、自分の考えを書くことができる。(記述) |